

## 診療局：形成外科

### －スタッフ－

役 職	スタッフ名
部 長	中川 達裕
医 員	池村 光之介

### －概要－

#### 【人員構成と施設資格】

当科は大阪大学医学部形成外科学教室の関連病院として、2名のスタッフが常勤しています(中川達裕:部長・日本形成外科学会専門医、池村光之介:常勤医員)。また当院は日本形成外科学会認定施設に指定されています。

(平成24年12月31日現在)

#### 【主な診療内容と特色】

形成外科の診療対象は非常に多岐にわたりますが、当科では主に以下の診療をおこなっています。

#### ○皮膚良性腫瘍、母斑、血管腫、皮膚悪性腫瘍の外科的治療

小児の皮膚腫瘍手術は、日帰り全身麻酔手術でおこなっています。

#### ○顔面骨骨折の観血的整復手術

骨折部位の固定には吸収性プレートを用いますので、後日のプレート除去の手術は必要ありません。

#### ○眼瞼下垂・睫毛内反の修正手術

先天性眼瞼下垂、加齢などに伴う腱膜性眼瞼下垂の治療が可能です。

#### ○表在性皮膚病変に対するレーザー治療

表在性血管腫に対するVビームレーザー治療、太田母斑・異所性蒙古斑・外傷性色素沈着に対するアレクサンドライトレーザー治療、皮膚表在性病変に対する炭酸ガスレーザー治療が可能です。

#### ○乳癌術後の乳房再建

当科では乳腺外科と連携して、乳癌患者さんの乳房再建術をおこなっています。自家組織による再建以外にも、シリコンバッグによる乳房再建が可能です。また乳癌切除と同時にエキスパンダーバッグ(皮膚拡張器)を挿入し、不足皮膚を拡張することで整容性の高い再建が可能となっています。

#### ○顔面神経麻痺の外科的治療

眉毛・眼瞼・口角下垂の矯正や、神経移植による機能回

復手術が可能です。

#### ○熱傷の治療

#### ○外傷後や手術後の瘢痕、ケロイドの治療

#### ○陥入爪・巻き爪の治療

形状記憶ワイヤーを用いた非観血的矯正治療や、フェノール法による観血的治療をおこなっています。

#### ○癌切除後再建、外傷性・難治性皮膚欠損の再建手術

頭頸部癌切除後のマイクロサージャリーによる再建手術や、その他各種癌切除後欠損・外傷後欠損の再建手術をおこなっています。

#### ○その他の院内活動

全入院患者の褥瘡対策を担い、褥瘡対策チームの中心として看護師・薬剤師・栄養管理士とともに週1回(火曜午前)の褥瘡回診をおこなっています。

### －実績－

#### 【平成24年年度手術統計】

(2012年1月1日～12月31日)

熱傷	4
顔面軟部組織損傷	14
顔面骨骨折	20
四肢その他の外傷	18
外傷後の組織欠損(2次再建)	2
先天異常	19
良性腫瘍	351
悪性腫瘍	55
腫瘍切除後の再建	31
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	26
褥創	6
その他の潰瘍	14
炎症・変性疾患	40
その他	8
レーザー治療	87
合計	695

